



第7回東北大学脳科学グローバルCOE キャリアパスセミナーの お知らせ

キャリアパスセミナーでは、主に、生命科学で専門教育(主に修士以上)を修められた上で、アカデミックとは異なるキャリアを積まれた方を中心にお招きして、御経験をもとに、キャリア形成について語って頂きます。第7回は、サイエンスコミュニケーターという特徴あるキャリアを積まれている講師の方をお招きします。

日時 2009年6月5日(金)17:30～19:00

会場 星陵キャンパス・5号館2階 201 セミナー室

演者 内田 麻理香 先生

(サイエンスコミュニケーター／東京大学工学部広報室特任研究員)



演題 「科学と社会の架け橋に—サイエンスコミュニケーションと大学広報—」

講演概要

科学は好きだったけど理系は苦手、でも文系科目も得意ではない。そんな悩みの先に辿り着いたのが、サイエンスコミュニケーターという仕事でした。科学の「食わず嫌い」の皆さんに振り向いてもらうにはどうしたらよいか?日々体当たりで試行錯誤するリアルな姿をお伝えします。そして、同じく「科学と社会の架け橋」である大学工学部広報担当者としての業務内容もご紹介。大学広報担当として、個人として。二つの顔を持って活動する立場から、その共通点・相違点を検討し、サイエンスコミュニケーターという「仕事」の表裏両面についてお話しします。

演者略歴

東京大学工学部応用化学科卒、同大学院工学系研究科応用化学専攻修士課程修了。同大学院博士課程進学、日本学術振興会特別研究員(DC1)。博士課程中途退学後、専業主婦に。2005年に処女作を出版したのち、フリーランスのサイエンスライターとなる。2007年から東京大学工学部広報室特任教員。2009年、東京大学大学院学際情報学府博士課程に入学すると同時に現職。大学学部広報の業務の傍ら、各種媒体を通じてサイエンスコミュニケーターとして活動中。主な著作は「カソウケン(家庭科学総合研究所)へようこそ」「恋する天才科学者」(共に講談社刊)。主な出演番組は「世界一受けたい授業」(日テレ系列)。

*聴講は、脳科学グローバルCOE関係者に限らず、どなたでも歓迎します。

連絡先:脳科学GCOE事務局(長神風二)内線7908